



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社ティラド  
 コード番号 7236 URL <http://www.trad.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嘉納 裕躬  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・財務部長 (氏名) 金井 典夫  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3373-1101

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	90,487	21.8	4,430	117.4	5,057	118.2	3,494	115.9
29年3月期第3四半期	74,284	△2.5	2,037	103.3	2,317	83.8	1,618	160.9

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 3,858百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 △1,125百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	438.93	—
29年3月期第3四半期	201.86	—

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	90,738	46,371	49.3	5,619.14
29年3月期	79,213	42,385	52.4	5,210.51

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 44,728百万円 29年3月期 41,485百万円

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
30年3月期	—	3.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成29年6月28日開催の当社第115期定時株主総会において、平成29年10月1日を効力発生日とする株式併合(普通株式10株を1株に併合)について決議いたしました。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となり、1株当たり年間配当金は8円となります。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,900	16.1	5,700	77.2	6,400	80.5	2,900	43.4	364.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年2月5日)公表いたしました「連結業績予想の修正と特別利益計上に関するお知らせ」をご参照ください。平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は36円43銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	8,344,405 株	29年3月期	8,344,405 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	384,403 株	29年3月期	382,534 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	7,961,220 株	29年3月期3Q	8,017,973 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
3. 補足情報 .....	11
販売の状況(連結) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境は、輸出の増加や円安進行などを背景に、企業収益環境の改善が持続し、緩やかな回復基調にあります。先行きは、米国新政権の保護主義的な政策運営や北朝鮮情勢など、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当企業集団の売上高（外貨ベース）は、米国、中国、アジアの子会社及び国内における業績好調により増収増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益についても、独占禁止法関連の和解金支払に伴う特別損失を計上致しましたが、投資有価証券売却益の計上等により、前年同期比増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比16,203百万円増加し、90,487百万円（21.8%増）、営業利益は2,393百万円増加し、4,430百万円（117.4%増）、経常利益は2,739百万円増加し、5,057百万円（118.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,875百万円増加し、3,494百万円（115.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

連結子会社の当第3四半期連結累計期間の決算日は9月30日であり、連結財務諸表の作成にあたっては同日現在の財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。該当するセグメントは、米国、欧州、アジア、中国であります。

国内3子会社の決算日は連結会計年度の末日と一致しております。該当するセグメントは、その他であります。

なお、前第2四半期連結会計期間より、Tripac International Inc.を米国セグメント及び前第4四半期連結会計期間より、東洋（常熟）熱交換器研发中心有限公司を中国セグメントに含めております。

また、第1四半期連結会計期間において、新設したT.RAD Sales Europe GmbHを欧州セグメント及び当第3四半期連結会計期間において、株式を追加取得した青島東洋熱交換器有限公司を中国セグメントに含めております。

セグメント	売上高				営業利益			
	前第3四半期連結累計	当第3四半期連結累計	増減	増減率※ (外貨ベース)	前第3四半期連結累計	当第3四半期連結累計	増減	増減率※ (外貨ベース)
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)
日本	38,256	42,089	3,833	10.0	579	699	119	20.7
米国	16,769	23,141	6,372	23.8	△141	714	856	553.2
欧州	2,618	2,998	380	△5.8	△116	△205	△89	△72.7
アジア	10,295	12,512	2,217	5.6	580	1,565	985	138.6
中国	5,609	9,010	3,401	47.0	992	1,665	673	50.0
その他 (含む消去)	736	735	△0	△0.1	143	△9	△153	△106.4
合計	74,284	90,487	16,203	14.8	2,037	4,430	2,393	100.2

※表中の増減率（外貨ベース）は、海外売上上の為替換算レート変動による差異を補正した場合の増減率です。

## ① 日本

自動車用売上高は、当社受注機種の上昇が好調に推移したことにより、前年同期比増加しました。建設産業機械用売上高は、中国向け需要増加及びマイニング市場の回復により、前年同期比増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、3,833百万円増加し、42,089百万円となりました。

営業利益は、前年同期比119百万円増加し、699百万円となりました。

## ② 米国

自動車用売上高は、当社受注機種の上昇増加により、前年同期比大幅に増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比6,372百万円増加し、23,141百万円となりました。外貨ベースでは、23.8%の増加となりました。

営業利益は、前年同期比856百万円増加し、714百万円となりました。外貨ベースでは、553.2%の増益となりました。

**③ 欧州**

自動車用売上高は、チェコ、ロシア共に受注数減少により前年同期比減少しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比380百万円増加し、2,998百万円となりました。外貨ベースでは、5.8%の減少となりました。

営業利益は、前年同期比89百万円減少し、△205百万円となりました。外貨ベースでは、72.7%の減益となりました。

**④ アジア**

自動車用売上高は、タイ、インドネシア、ベトナムにおいて当社受注機種の上上好調により、前年同期比増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比2,217百万円増加し、12,512百万円となりました。外貨ベースでは、5.6%の増加となりました。

営業利益は、前年同期比985百万円増加し、1,565百万円となりました。外貨ベースでは、138.6%の増益となりました。

**⑤ 中国**

自動車用売上高は、新規受注機種の量産開始及び主要客先の受注増加により、前年同期比大幅増加しました。建設産業機械用売上高は、中国国内市場好調により増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比3,401百万円増加し、9,010百万円となりました。外貨ベースでは、47.0%の増加となりました。

営業利益は、前年同期比673百万円増加し、1,665百万円となりました。外貨ベースでは、50.0%の増益となりました。

**⑥ その他**

国内連結子会社における運送業等の事業活動を含むその他セグメントの売上につきましては、前年同期比とほぼ同額、735百万円となりました。

**(2) 財政状態に関する説明****① 資産、負債及び純資産の状況**

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上の増加に伴う流動資産の増加及び青島東洋熱交換器有限公司の連結子会社化等により、前連結会計年度末比11,525百万円増加し、90,738百万円となりました。

負債は、買掛金及び借入金の増加等により、7,539百万円増加し、44,367百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、3,985百万円増加し、46,371百万円となりました。

**② キャッシュ・フローの状況**

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期比4,536百万円増加し、10,933百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの増減要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整四半期純利益の増加等により、前年同期比1,256百万円増加し、6,860百万円プラス、投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券売却及び子会社株式取得等により、前年同期比790百万円増加し、2,944百万円マイナス、及び財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加等により、前年同期比2,348百万円増加し、663百万円プラスとなりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

連結業績予想につきましては、平成29年11月6日公表の業績予想を修正いたしました。詳細は、本日（平成30年2月5日）公表いたしました「連結業績予想の修正と特別利益計上に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	6,025	11,001
受取手形及び売掛金	19,198	23,526
電子記録債権	2,461	2,790
有価証券	499	399
商品及び製品	1,889	2,641
仕掛品	514	512
原材料及び貯蔵品	4,180	4,783
繰延税金資産	652	393
その他	2,260	2,326
貸倒引当金	△83	△83
流動資産合計	37,598	48,292
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	6,326	6,573
機械装置及び運搬具(純額)	15,914	16,292
土地	2,541	2,574
リース資産(純額)	131	121
建設仮勘定	2,461	3,051
その他(純額)	2,230	2,155
有形固定資産合計	29,607	30,767
<b>無形固定資産</b>		
のれん	225	633
その他	734	1,053
無形固定資産合計	959	1,686
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	8,762	9,061
退職給付に係る資産	212	172
繰延税金資産	196	108
その他	1,904	678
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	11,047	9,991
固定資産合計	41,615	42,446
資産合計	79,213	90,738

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,745	13,532
電子記録債務	2,949	4,620
短期借入金	5,178	6,185
リース債務	572	410
未払法人税等	539	327
未払費用	2,205	3,189
賞与引当金	1,276	781
役員賞与引当金	53	63
製品保証引当金	104	227
株主優待引当金	41	29
営業外電子記録債務	352	653
その他	1,448	1,352
流動負債合計	24,465	31,374
固定負債		
長期借入金	9,473	9,798
リース債務	631	801
繰延税金負債	1,977	2,166
役員退職慰労引当金	2	3
退職給付に係る負債	81	81
資産除去債務	89	89
その他	106	51
固定負債合計	12,362	12,993
負債合計	36,827	44,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,545	8,545
資本剰余金	7,473	7,465
利益剰余金	24,162	27,178
自己株式	△891	△899
株主資本合計	39,289	42,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,148	1,485
為替換算調整勘定	550	477
退職給付に係る調整累計額	496	474
その他の包括利益累計額合計	2,195	2,437
非支配株主持分	900	1,642
純資産合計	42,385	46,371
負債純資産合計	79,213	90,738

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	74,284	90,487
売上原価	66,435	79,127
売上総利益	7,848	11,360
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	828	1,020
給料及び手当	1,440	1,489
賞与引当金繰入額	123	171
役員賞与引当金繰入額	32	63
退職給付費用	52	51
福利厚生費	649	740
製品保証引当金繰入額	16	65
株主優待引当金繰入額	—	28
研究開発費	750	981
その他	1,917	2,319
販売費及び一般管理費合計	5,810	6,929
営業利益	2,037	4,430
営業外収益		
受取利息	50	55
受取配当金	214	208
持分法による投資利益	280	274
為替差益	—	74
その他	113	179
営業外収益合計	657	792
営業外費用		
支払利息	159	158
為替差損	201	—
その他	16	7
営業外費用合計	377	166
経常利益	2,317	5,057
特別利益		
固定資産売却益	10	14
投資有価証券売却益	333	641
新株予約権戻入益	37	—
段階取得に係る差益	—	607
特別利益合計	381	1,263
特別損失		
固定資産売却損	8	1
固定資産除却損	71	65
課徴金等	454	1,288
特別損失合計	535	1,355
税金等調整前四半期純利益	2,164	4,965
法人税、住民税及び事業税	624	1,024
法人税等調整額	△127	299
法人税等合計	496	1,324
四半期純利益	1,667	3,641
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	146
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,618	3,494

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,667	3,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	803	337
為替換算調整勘定	△3,188	△121
退職給付に係る調整額	△16	△22
持分法適用会社に対する持分相当額	△390	23
その他の包括利益合計	△2,792	216
四半期包括利益	△1,125	3,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,017	3,736
非支配株主に係る四半期包括利益	△108	121

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,164	4,965
減価償却費	3,819	4,032
退職給付費用	△25	△33
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47	43
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	△31
賞与引当金の増減額(△は減少)	△561	△495
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10	10
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△118	△10
固定資産除却損	71	65
固定資産除売却損益(△は益)	△2	△12
課徴金等	454	1,288
受取利息及び受取配当金	△264	△263
支払利息	159	158
持分法による投資損益(△は益)	△280	△274
売上債権の増減額(△は増加)	△1,129	△1,871
たな卸資産の増減額(△は増加)	△273	△268
仕入債務の増減額(△は減少)	1,193	2,795
有価証券売却損益(△は益)	△333	△641
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△607
その他の流動資産の増減額(△は増加)	272	△64
その他の流動負債の増減額(△は減少)	861	350
その他	△47	△39
小計	6,030	9,097
利息及び配当金の受取額	485	339
利息の支払額	△158	△159
法人税等の支払額	△595	△1,128
課徴金等の支払額	△157	△1,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,603	6,860
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,187	△3,915
有形固定資産の売却による収入	52	43
投資有価証券の取得による支出	△0	—
投資有価証券の売却による収入	602	990
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	229
貸付けによる支出	△0	—
その他	△201	△292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,735	△2,944
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,652	404
長期借入れによる収入	5,638	1,658
長期借入金の返済による支出	△2,944	△828
非支配株主からの払込みによる収入	1	1
自己株式の取得による支出	△484	△7
配当金の支払額	△485	△477
非支配株主への配当金の支払額	△142	△106
その他	△615	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,685	663
現金及び現金同等物に係る換算差額	△667	139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△484	4,717
現金及び現金同等物の期首残高	6,760	6,216
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	122	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,397	10,933

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 3	合計
	日本	米国	欧州	アジア	中国	計		
売上高								
外部顧客への売上高	38,256	16,768	2,617	10,295	5,609	73,547	736	74,284
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	4,068	114	35	156	955	5,329	2,156	7,486
計	42,324	16,882	2,653	10,451	6,564	78,877	2,892	81,770
セグメント利益又は 損失(△)	579	△141	△116	580	992	1,893	188	2,082

(注) 1. 当社は、生産・販売体制を基礎とした当社・現地法人のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「欧州」、「アジア」、及び「中国」の5つを報告セグメントとしております。

2. 各報告セグメントに属する主な国又は地域

欧州……………チェコ・ロシア

アジア……………タイ・インドネシア・ベトナム

3. 「その他」の区分は、報告区分に含まれない事業セグメントであり、運送業などを営む国内子会社の事業活動を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,893
「その他」の区分の利益	188
セグメント間取引消去	△44
四半期連結損益計算書の営業利益	2,037

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)3	合計
	日本	米国	欧州	アジア	中国	計		
売上高								
外部顧客への売上高	42,089	23,141	2,997	12,512	9,010	89,751	735	90,487
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	5,028	121	428	78	1,304	6,961	2,377	9,339
計	47,118	23,262	3,426	12,591	10,315	96,713	3,113	99,827
セグメント利益又は 損失(△)	699	714	△205	1,565	1,665	4,439	186	4,625

(注) 1. 当社は、生産・販売体制を基礎とした当社・現地法人のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「欧州」、「アジア」、及び「中国」の5つを報告セグメントとしております。

2. 各報告セグメントに属する主な国又は地域

欧州……………チェコ・ロシア・ドイツ

アジア……………タイ・インドネシア・ベトナム

3. 「その他」の区分は、報告区分に含まれない事業セグメントであり、運送業などを営む国内子会社の事業活動を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,439
「その他」の区分の利益	186
セグメント間取引消去	△195
四半期連結損益計算書の営業利益	4,430

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「中国」セグメントにおいて、青島東洋熱交換器有限公司の株式取得に伴い、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては453百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報  
販売の状況(連結)

営業年度 用途	前第3四半期連結 累計期間 (平成28年4月1日 ～平成28年12月31日)		当第3四半期連結 累計期間 (平成29年4月1日 ～平成29年12月31日)		差引		前連結会計年度 (平成28年4月1日 ～平成29年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
自動車用	51,231	69.0	63,613	70.3	12,381	24.2	75,769	70.4
建設産業機械用	15,324	20.6	19,773	21.9	4,448	29.0	21,643	20.1
空調機器用	5,326	7.2	4,357	4.8	△968	△18.2	6,793	6.3
その他	2,401	3.2	2,743	3.0	342	14.2	3,401	3.2
合計	74,284	100.0	90,487	100.0	16,203	21.8	107,608	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。